

令和2年12月2日

市政記者各位

福岡市美術館

企画展「ソシエテ・イルフは前進する」

戦前の福岡で結成された前衛美術グループ、ソシエテ・イルフの回顧展を開催いたします。写真家、画家、工芸家からなる7人の主要メンバーは1930年代半ばに福岡に集い、互いに意見を交わしあいながら写真・絵画の制作、工芸品のデザインを行っていました。戦時色が濃くなる時代にシュルレアリスムや抽象表現を志向した彼らの活動は、福岡の前衛美術の系譜のなかにあって特異な存在感を放ちます。視覚表現の広がりを感じさせる写真作品や絵画とともに、メンバーが作品を投稿していたカメラ雑誌などの関連資料をご紹介します、彼らの活動に光を当てます。ぜひ、広報にご協力いただきますようお願いいたします。

展覧会

ソシエテ・イルフは前進する 福岡の前衛写真と絵画

会期	令和3年1月5日（火）～3月21日（日）
開館時間	午前9時30分～午後5時30分（入館は閉館30分前まで）
休館日	毎週月曜日 ※ただし1月11日（月・祝）は開館し、1月12日（火）は休館
会場	福岡市美術館 2階近現代美術室B
観覧料	コレクション展示観覧料でご覧になれます。 （一般200円、高大生150円、中学生以下無料）



撮影者不詳《イルフ逃亡》1939年 個人蔵

【展覧会関連企画1】 スライドショー形式の作品解説を開催！

会場：福岡市美術館 1階ミュージアムホール
参加料：無料 ※各日定員180名、先着順

スライドショー

「ソシエテ・イルフのスライドショー」

日時：1月9日（土）午後3時～午後4時
講師：忠あゆみ（本展担当学芸員）

つきなみ講座

「ここではないどこかへ！日本のシュルレアリスム」

日時：1月30日（土）午後3時～午後4時
講師：忠あゆみ（本展担当学芸員）

【展覧会関連企画2】 記念講演会を開催！

会場：福岡市美術館 1階ミュージアムホール
参加料：無料 ※各日定員180名、先着順

記念講演会（1）

「前衛写真（フォト・アヴァンギャルド）の行方
—〈ソシエテ・イルフ〉を巡る写真家たち」

日時：2月27日（土）午後2時～午後3時30分
講師：竹葉丈（名古屋市美術館学芸員）

記念講演会（2）

「趣味と報国：ソシエテ・イルフをもっとよく知るための写真史1920-1942」

日時：3月6日（土）午後2時～午後3時30分
講師：若山満大（インディペンデント・キュレーター）

※新型コロナウイルス感染症拡大防止に取り組みながら開館しております。

※来館時にはマスクの着用、手指の消毒等にご協力ください。

※展覧会の詳細は次頁チラシ、当館HPをご覧ください。

【問い合わせ先】

経済観光文化局 美術館運営部 学芸課（担当：忠、山口、岩永）

問合せ：092-714-6051

前進の推進力は美に對する吾々の探求精神である

高橋渡
TAKAHASHI Wataru

久野久
HISANO Hisashi

許斐儀一郎
KONOMI Giichiro

田中善徳
TANAKA Zentoku

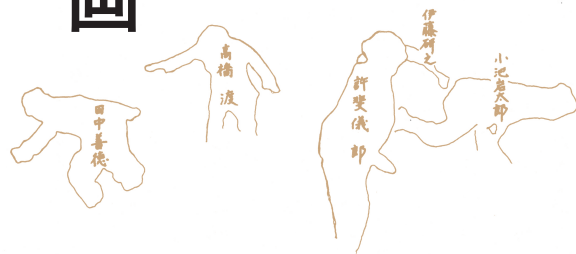
吉崎一人
YOSHIZAKI Hitori

小池岩太郎
KOIKE Iwataro

伊藤研之
ITO Kenshi

Société IRF Moves Forward
Avant-Garde Photographs and Paintings of Fukuoka

ソシエテ・イルフ
は前進する
福岡の前衛写真と絵画



撮影者不詳《イルフ逃亡》1939年 個人蔵
描き起こし 松浦仁

2021年1月5日[火]—3月21日[日]

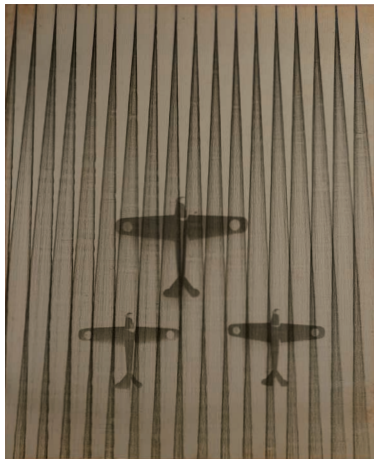
休館日||月曜日(1月11日[月・祝]は開館し、翌12日[火]は休館) 開館時間||9:30-17:30(17:00最終入館)

福岡市美術館 近現代美術室B

主催||福岡市美術館 助成||芸術文化振興基金、福岡文化財団 協力||MEM



福岡市美術館
FUKUOKA ART MUSEUM



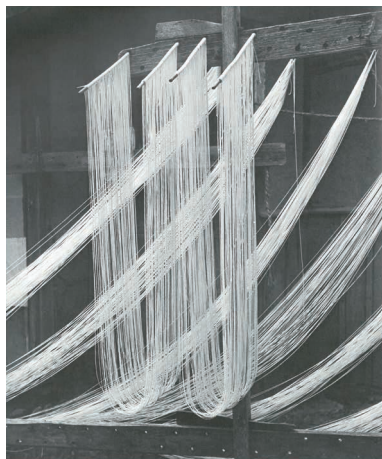
高橋渡《エンビツ画》1937年 個人蔵



久野久《海のショーウィンドウ》1938年 個人蔵



許斐儀一郎《海の墓標》1939年 個人蔵



田中善徳《翁素麵》1943年
公益財団法人北原白秋生家記念財団蔵

関連イベント

会場||1階ミュージアムホール／聴講無料／
先着順(定員定員180名)／30分前より開場

「ソシエテ・イルフのライドショー」

講師|| 忠あゆみ(本展担当学芸員)

日時|| 1月9日[土] 15:00-16:00(30分前より受付開始)

密集したギャラリートークが難しいご時世なので、
担当学芸員がライドショー形式で作品についてお話しします。

つきなみ講座

「ここではないどこかへ! 日本のシュルレアリスム」

講師|| 忠あゆみ(本展担当学芸員)

日時|| 1月30日[土] 15:00-16:00(30分前より受付開始)

記念講演会(1)

「前衛写真(フォト・アヴァンギャルド)」の行方

—〈ソシエテ・イルフ〉を巡る写真家たち—

講師|| 竹葉丈(名古屋美術学芸員)

日時|| 2月27日[土] 14:00-15:30

記念講演会(2)

「趣味と報国」

ソシエテ・イルフをもっとよく知るための写真史 1920-1942」

講師|| 若山満大(インディペンデント・キュレーター)

日時|| 3月6日[土] 14:00-15:30

※定員等の変更になることがございます。イベントの詳細は美術館ホームページをご確認ください。

観覧料|| 一般 200円(150円) | 高大生 150円(100円)

()内は20名以上の団体料金。次の方は無料で観覧いただけます。○身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をご持参の方、およびその介護者1名○特定医療費(指定難病)受給者証・特定疾患医療受給者証・先天性血液凝固因子障害等医療受給者証・小児慢性特定疾病医療受給者証をご持参の方○福岡市、北九州市、熊本市、鹿児島市在住の65歳以上の方○wa+club(わたすクラブ)会員○中学生以下の方



吉崎一人《嬉戯》1938-1941年頃 東京都写真美術館蔵

ソシエテ・イルフは前進する
福岡の前衛写真と絵画

福岡市美術館

〒810-0051 福岡市中央区大濠公園1-6

Tel. 092-714-6051 | Fax. 092-714-6071

www.fukuoka-art-museum.jp

「ソシエテ・イルフ」は戦前の福岡で結成された前衛美術グループです。主なメンバーは、写真愛好家の高橋渡(1900-1944)、久野久(1903-1946)、許斐儀一郎(1896-1951)、田中善徳(1903-1963)、吉崎一人(1912-1984)と、のちにデザイナーとして知られる小池岩太郎(1913-1992)、画家の伊藤研之(1907-1978)の7名。写真愛好会や喫茶店の顔なじみだった彼らは、1930年代半ばに集結し、「古い」の逆さ読みから「ソシエテ・イルフ」を名乗るようになりました。

「イルフ」のメンバーは定期的に集まり、興味を持った美術展や芸術作品について意見を交しながら写真・絵画・工芸の各分野で活動していました。とりわけ、福岡市近郊の海辺や街中で撮影した写真作品には前衛写真の技法や構図を駆使し、当時日本に紹介されていたシュルレアリスムや抽象芸術への好奇心と、身の周りのものに造形の面白さを見出す視線をメンバー同士が共有していました。

1940年4月に発行した同人誌『irf1』の中で、彼らは「吾々自身の新しき世界を把握すべき」と述べ、「ソシエテ・イルフは前進する」と宣言します。社会に役立つ作品が求められるムードを受け、戦時下の美術家たちの表現の幅が制限される中、「イルフ」はあくまで表現における前衛を貫こうとしました。戦時体制が全面化するとともにグループとしての活動は終息しますが、彼らは何を目指して前進し、そして歩みを止めたのでしょうか。

「ソシエテ・イルフ」の約30年ぶりの回顧展となる本展では、当時の作品・資料とともにその活動を改めて検証します。



伊藤研之《音階》1939年 福岡市美術館蔵

[交通案内] (地下鉄)《空港線》大濠公園駅(福岡市美術館口)下車、徒歩10分。《七隈線》六本松駅下車、徒歩10分。〈西鉄バス〉[系統番号13・140]で「福岡市美術館東口」下車、徒歩3分。[系統番号6・7・12・113・114・200～206・208]で「赤坂三丁目」下車、徒歩5分。[系統番号6-1]で「福岡城・NHK放送センター入口」下車、徒歩3分。〈車〉福岡都市高速「西公園ランプ」から5分。福岡市美術館専用駐車場(有料:1時間/200円) 利用時間:午前9時～午後9時(開館日のみ) ※週末、祝日等は大変込み合います。公共の交通機関をご利用ください。

